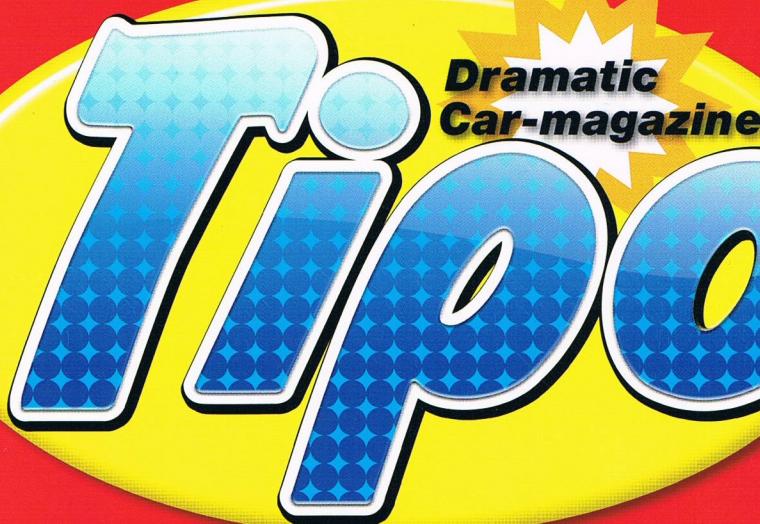


話題のニューモデルからスーパースポーツまで気になるクルマを一刀両断



Dramatic
Car-magazine

2012年4月号 定価660円
No.274 月号 カー・マガジン ティー・ボ
平成24年4月1日発行 毎月1回1日発行
平成3年4月2日 第3種郵便物認定



キャトルvs2CV
人気投票対決!

アレとコレとではどっちがイイんでしょう?

THE キャトル!! 2012 Part 12

気になるクルマはいろいろあるけれど、アレとコレではどっちがいいのか迷ってしまう……。
最近出たばかりの話題のあのクルマの実力は? 新たに加わったあのグレードの魅力は?
100万円台で買うべきチューコ車はどれがイイ? 実力伯仲のライバルをズバッと対決!



ベストワインディング
カーはどれ?

主な内容 ●話題のスポーツ6台が一堂に集合! どれがイイんだ決定戦! ●新たな仲間が加わった! ミニのオープン同門対決! ●家族も自分も満足! ティーボ流ミニバトン選びの決定版! ●話題の国産スポーツ対決! こんな楽しみ方あります! ●100万円台で買える旬なチューコ車対決 ●永遠のライバル! フレンチ・クラシック対決



FIAT 500L
MINI ROADSTER
CITROËN DS4 RACING



Purchase Project
RENAULT MEGANE RS



PROLOGUE
太田哲也 × GENROQ

©2006 中川大地 / Daichi Nakagawa
©2006 田中秀宣 / Hideyuki Tanaka
KEEP ON RACING

「俺は古いや超自然現象というものはまったく信じないけど、運命については確かに何かがあると

「けつこう大きくなっていて、俺は運に人生を左右されたださ。自分はとても、運が良かったなと思っている。太田作也とは、東洋文化研究会を率いて、モータースポーツベースキャンプ」と語る前田は、「TENZO BASE」と書いたタトゥーがある。太田と面識あるときは、いつも笑顔で「TENZO」で会った。

修羅場に一気に直撃させられることになり、戸惑い、苦悩しながらも食を食いしばりながら乗り越えてきた男だけが生きることのできる強さだ。そんなことを思っていたら、さらに強まる感じの出来事が起ってきた。

991年からレストランを始めたんだ。およそ3年ぶりに対面したティーノの姿は、思いのほかボロだったんだよね。自分もレストランしてきたわけ。何回も不満でボロボロの身体を抱してきてた。ようやく外に出られるようになつたし、ステアリングを握ることもできるようになつた。だが今度はディーノに手をかけてあけよう、あけるべきだと思った。

監すことなく「自分のレストラン」といって空う間に、いまの大田哲也の転力があると思った。

リストアート



PROFILE 太田哲也

自動車評論家・レーシングドライバー。4年連続マル・マン24時間レースに フューラーで出場するなど日本一のフェラーリ達いの異名を取る。1998年、 レース中の多発事故で両親を亡くしながら、2年半後にはサーキットに復帰。

の代表に指名された。と、同時に、フェラーリのインボーターであるコーンズや、同クラブの有志らのバックアップを受けて自らのチームを設立する。

「皆が一緒になって協力しあい、フーラリーを開拓することを目指す。こんなムードメントは、ヨーロッパでは異として日本ではいつの時代を見ぬしてみてもこの時だけだった」

太田は自らもステアリングを握つてフェラーリF355GTを操り、当時の全日本GT選手権GT300クラスに参戦する。初戦は座籠埋れながら戦闘力不足に苦しめ、最後尾から発進だったが、最終戦のオートリースターレでは優勝圏に躍ったようだ。

「マシンはもちろん、チーム全体のスピーチショーンも、そして俺のドライビングも、駆が乗つたいい状態だった。これなら来年が楽しみだと思っていたんだ」



元日劇場のフーリ美術館に黙れていたディー・事故の直前に隣けた後、荷物をなくせられたが、現在は往時を取り戻すべくトアを施している。

まうのである。この出来事は、既に多數のメディアで報告されだし、本人も著書を筆頭にいくつもの場所で語り、そして文章にしている。記憶に焼き付いている人も多いはずだ。

3年間にわたるハビリ期間のことをいつと音楽はない。当時の、絶望と希望を往来した彼を、僕は近くで見ることはなかった。しかし太田はしっかりと戻ってきた。その態度の話を持ち出すと牧羊人にいたがなない。が、現在、彼はエッセイやインプレッション記事を精力的にこなす執筆活動を行なう傍らで、フェラーリやアルファロメオのチューニングア

そして右往左往している（ようく感じじる）クルマ社会の中で、クルマ本来の魅力を見つけて、それを明日のクルマ社会へと語かしていく過程を、枝の生き方や考え方を探えて伝えていきたい。もちろん、彼がたいせつに育てるテーマーーと共に――。

187 GENROQ COOPERATION / KEEP ON RACING <https://www.lease-on-racing.com/> | 共通カラーステップドライビングスクール <https://www.sportdrivingschool.com/>